

国語科（国語）調査資料 作成の観点

書名	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> ○○○○ ○○○○○ </div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">発行者名</div>
項目		
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○日常生活に必要な国語の特質（言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化）を理解し適切に使うことができるように、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○言語活動を通して、言語能力を育成するためにどのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○言葉がもつよさを認識するとともに、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○児童の言語感覚（言葉に対する正誤・適否・美醜などの感覚）を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜読書に親しむ態度を育成するための工夫＞</p> <p>○読書に親しむ態度を育成し、読書習慣を形成するために、どのような工夫が見られるか。</p>	
資 料	<p>○学習効果を高めるため、資料にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○挿絵・写真・図表等、資料のレイアウトにどのような工夫が見られるか。</p>	
表記・表現	<p>○漢字・用語・記号などの使い方にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の言語能力の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p>	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">新編 新しい国語</h1>	2 東 書
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学年段階に応じた観点から言葉を集め、文の中で練習をする「ことばあつめ」を設定して語彙を広げる工夫を取り入れ、学習や日常生活の中で活用できるように工夫されている。 ○2年以上で情報の扱い方と関連させた「書くこと」の小単元を学年初めに設定し、情報を整理したり関連付けたりする力を身に付けられるように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」では、対話、聞く、話し合い、話すという順に単元が配置されている。全学年でこの単元配列になっており、身近なテーマについての対話を初めとして、段階的に伝え合う力の育成が図れるように工夫されている。 ○読む教材文で学んだことを題材にして書く活動を行うなど、「読むこと」と「書くこと」をつなげて、多面的に思考できるように工夫している。6年では「読むこと」から書くこと「話すこと・聞くこと」へつなぎ、言語能力の育成を図っている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○2年以上で、言葉の学びを振り返り深める単元を設け、様々な言葉の特徴や使い方を改めて考え、学習を通じた自分の成長を実感できるように工夫されている。 ○「伝えたい言の葉」（全学年）や「季節の足音」（2年以上）を設け、音読や表現活動を通して、言葉のもつよさや日本語の美しさを味わえるようにしている。 <p><読書に親しむ態度を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館の活用について、1～6年で学校図書館に関する教材を設定し、その活用方法が理解できるように工夫されている。 ○読書に親しむことができるように、著名人の読書経験を紹介されている。また、読む教材文に関連した本を案内文と表紙写真で紹介されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○1～4年は上下巻、5・6年は年間1冊となっている。 ○教材文に関わる挿絵、写真、リード文を掲げたり、図やグラフを付したりしている。 ○Dマークを付した箇所では、ウェブサイト上でデジタルコンテンツを閲覧、利用することができるようになっている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○分かち書きは、2年下巻までである。 ○入門期は、学習の土台ができるように幼児期に育まれた言葉に関する資質・能力を生かした題材等を取り上げている。1年4月の教材は全て見開き完結になっている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元を「つかむ」「取り組む」「ふり返る」という構成にすることで、学習過程を明示し、見通しをもって学習できるよう配慮されている。 ○思考を言語化し、整理したり、深めたりしながら、考えを形成する手立てとしてノートやメモ、カード、図表、対話等の例を取り入れて提示されている。 	

書名 項目	<h1 style="text-align: center;">みんなと学ぶ 小学校国語</h1>	<div style="text-align: center;">1 1</div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">学 図</div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○上巻巻頭で、身の回りの語彙や出来事を書きためる活動を設定し、巻末でより多くの語彙を増やせるような資料を掲載することで、学習や日常生活で活用できるように工夫されている。 ○情報の関連付けや情報の整理の仕方についての教材を配置し、演習を通して理解できるようにし、他領域や他教科にも活用できるように工夫されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「話すこと・聞くこと」では、話す・聞く・話し合う活動を系統的に位置付け、日常生活の場面を想定した設定により、言葉を通して伝え合う力を育むように工夫している。スピーチや原稿、資料を用いた発表等を位置付けている。 ○読む教材文で学んだことを題材にして書く活動を行うなど、「読むこと」と「書くこと」をつなげて、多面的に思考できるように工夫されている。「書くこと」では、「レッスン」で学んだ書き出しの工夫や推敲の仕方等を活用できるようにしている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻末において、1年間での学習した内容が一覧となっており、友達と話し合いながらこれまでの学びを振り返り、学習者が達成感を味わえるように工夫されている。 ○「季節のたより」（2年以上）を設け、音読や表現活動を通して、言葉のもつよさや日本語の美しさを味わえるように工夫されている。 </p> <p> <読書に親しむ態度を育成するための工夫> ○学校図書館の活用について、1～3年では学校図書館、4・6年では地域の図書館などに関する教材を設定して、その活用方法が理解できるように工夫されている。 ○読書に親しむことができるように、読む教材文に関連した本を案内文と表紙写真で紹介したり、生活読書教材を設定したりしている。 </p>	
資 料	<p> ○全学年とも上下巻の分冊となっている。 ○教材文に関わる挿絵や写真、図等を掲げ、絵や写真と文章を対応させて示している。 ○記載されているQRコードを読み取ると、教科書連動コンテンツを閲覧、利用することができるようになっている。 </p>	
表記・表現	<p> ○分ち書きは、2年上巻途中までである。 ○入門期は幼児期から児童期への移行を考慮し、実態に合わせて複数の教材を組み合わせた指導ができるように工夫されている。 </p>	
総 括	<p> ○展開する活動の概要を単元冒頭に提示したり、学習活動の流れを見開きで示したりして、学習過程を明確にし、見通しをもって学習できるように工夫されている。 ○「考えの形成」が重視された教材を設定し、自分の考えを表現する場を確保するように配慮されている。 </p>	

書名 項目	<h1>ひろがる言葉 小学国語</h1>	17 教 出
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○各単元や領域ごとに身に付ける語彙を示し、巻末の「言葉の木」では語彙拡充のための語句をまとめて掲載することで、具体的な文脈や場面を想起させ、学習や日常生活で活用できるように工夫されている。 ○説明文教材で、情報を扱うための文型や話型を示し、情報の関連付けや情報の整理について捉える学習活動を設定し、他教科にも活用できるように工夫されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「話すこと・聞くこと」では、日常生活に関連した場を想定した活動を設定したり、カード、ビンゴ、動作を取り入れた活動を教科書の導入教材として位置付けたりして、伝え合う力を育むように工夫されている。 ○読む教材文で学んだことを題材にして書く活動を行うなど、「読むこと」と「書くこと」をつなげ、多面的に思考できるように工夫されている。手紙や新聞等、日常生活に関連した書く活動を設定し、様々な場面で活用できるように工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○全学年の巻頭の「〇年で学ぶこと」と、巻末の「これまで これから」により、学びの見通しと振り返りをできるようにし、自分の学びを確認できる工夫がされている。 ○季節や自然、古くから伝わる慣習など、言葉に興味を持たせる教材を設け、音読や表現活動を通して、言葉のもつよさや日本語の美しさを味わえるようにしている。 </p> <p> <読書に親しむ態度を育成するための工夫> ○学校図書館の活用について、1年では学校図書館、2～4年で情報検索・情報活用に関する読書単元を設定し、その活用方法が理解できるように工夫されている。 ○読書に親しむことができるように、読む教材に関連した本を案内文と表紙写真で紹介したり、読書経験の交流と表現活動を中心とした読書単元を設定したりしている。 </p>	
資 料	<p> ○全学年とも上下巻の分冊となっている。 ○教材文に関わる挿絵や図版等を掲げている。写真の配列から考える教材がある。 ○まなびリンクマークのある箇所では学習時に参照できる資料をウェブサイトで見覧、利用することができるようになっている。 </p>	
表記・表現	<p> ○分ち書きは、2年上巻途中までである。 ○入門期は、学校生活に無理なく移行できるよう、他教科と連携した合科的指導ができる構成になっている。 </p>	
総 括	<p> ○学習過程がはっきりと分かるように、学習の展開や段階を明示したり、重点化を図って取り立てたりして、見通しをもって学習できるように配慮されている。 ○「てびき」に学習者が自らの考えを形成し、深化、拡充させられるよう学習活動を設定したり、自分の考えを形成するための観点を例示したりしている。 </p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">国語</h1>	38 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">光 村</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学習を広げよう」では知識の習得の確認や身に付いた技能が他教科や日常生活のどのような場面で活用できるかを示すことで、学習や日常生活で活用できるように工夫されている。 ○2年以上で情報に特化した単元系列を設け、それぞれの単元末に情報の扱い方についてのポイントをまとめ、他教科や日常生活に生かせるように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」では、学校生活に関連した話題・題材設定をしている。2～6年では対話の練習を設定するなど、様々な対話の形態を体験することを通して、伝え合う力を育むように工夫されている。 ○読む教材文で学んだことを題材にして書く活動を行い、「読むこと」と「書くこと」をつなげて、多面的に思考できるように工夫されている。情報教材を「書くこと」の教材と関連させ、資料や引用など既習事項を活用できるように工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○2年以上で各単元の終わりの振り返りで、学んだことを次の学習にどうつなぐのかを考える活動があり、自分の学びを実感できる工夫がされている。 ○「声に出して読もう」（3年以上）や「季節の言葉」（2年以上）を設け、音読や表現活動を通して、言葉のもつよさや日本語の美しさを味わえるようにしている。 <p><読書に親しむ態度を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館の活用について、1～3年では学校図書館、4～6年では地域の図書館などに関する教材を設定し、その活用方法が理解できるように工夫されている。 ○読書に親しむことができるように、読む教材文に関連した本を案内文と表紙写真で紹介したり、読書を日常的に広げていくための読書単元を設定したりしている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○1～4年生は上下巻、5・6年生は年間1冊となっている。 ○教材文に関わる挿絵や写真を掲げ、内容を解説する写真や図、グラフを付している。 ○記載されているQRコードを読み取ると教科書連動コンテンツを閲覧、利用することができるようになっている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○分かち書きは、2年下巻途中までである。 ○入門期は、主体的な学習の姿勢作りができるように、幼児期で培ってきた言葉の力や経験を生かせる教材が設定されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の初めに学習の進め方を示したり、学習活動を見開きで提示したりして、学習過程を明確にし、見通しをもって学習できるように配慮されている。 ○「見通しをもとう」の中で「考えの形成」についての活動を設定し、単元の「ふりかえろう」で考えをもち、主体的に学習の確認ができるように工夫されている。 	

国語科（国語） 調査資料 2

○分量について

内容	学年	東書	学図	教出	光村
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	1年	320	268	314	270
	2年	348	280	332	322
	3年	356	310	324	322
	4年	356	316	346	326
	5年	306	340	336	297
	6年	306	330	340	311
2 巻末資料、付録等の総ページ数 ※ ページ番号のない部分も含む	1年	44	33	44	22
	2年	50	36	59	56
	3年	64	54	58	56
	4年	70	52	66	60
	5年	42	82	78	56
	6年	48	84	97	64
3 単元数	1年	5	10	7	11
	2年	9	14	15	9
	3年	9	12	13	8
	4年	9	11	14	8
	5年	9	11	10	7
	6年	9	10	10	7

○領域別教材数等について ※（ ）内は、資料編等の中の教材及び資料数

内容	学年	東書	学図	教出	光村	
1 教材数 ※ 扉の部分の詩も教材数に含む	1年	63(104)	68(55)	67(96)	63(53)	
	2年	60(120)	66(94)	50(104)	58(114)	
	3年	59(117)	65(105)	52(96)	64(117)	
	4年	59(122)	63(101)	54(113)	60(111)	
	5年	55(112)	59(105)	49(110)	64(120)	
	6年	51(110)	56(109)	45(114)	62(108)	
2 領域等教材数	① 言葉の特徴や使い方に関する事項	1年	53	61	58	53
		2年	39	54	38	46
		3年	36	52	38	40
		4年	39	49	33	38
		5年	32	43	31	39
		6年	31	43	31	37
	② 情報の扱い方に関する事項	1年	8	7	0	5
		2年	7	12	7	6
		3年	14	13	10	13
		4年	11	11	15	14
		5年	9	7	11	6
		6年	12	6	8	5
	③ 我が国の言語文化に関する事項	1年	7	9	8	11
		2年	8	9	5	7
		3年	8	8	8	7
		4年	9	11	8	8
		5年	16	12	8	15
		6年	10	8	8	11
	④ 話すこと・聞くこと	1年	13	11	10	13
		2年	5(2)	8	10	6
		3年	7(3)	9	10(1)	6(1)
		4年	5(2)	11	10(2)	6(1)
		5年	5(1)	5	8	7(1)
		6年	5(5)	5	9(3)	6(2)
⑤ 書くこと	1年	24(1)	22(2)	18	25(2)	
	2年	21(1)	16(4)	19	23(2)	
	3年	20(2)	21(2)	26(1)	29(2)	
	4年	17(3)	17(2)	25(3)	23(2)	
	5年	16(4)	15	24(5)	19(6)	
	6年	15(3)	16	22(4)	19(1)	
⑥ 読むこと	1年	20(41)	22(18)	21(7)	14(12)	
	2年	15(39)	23(29)	15(17)	13(34)	
	3年	15(30)	17(24)	13(16)	19(36)	
	4年	15(42)	19(22)	17(22)	16(33)	
	5年	20(34)	19(25)	18(19)	17(32)	
	6年	15(30)	19(20)	13(16)	21(29)	

○文種別教材数について ※（ ）内は、資料編等の中の教材数

内容	学年	東書	学図	教出	光村
1 説明的文章	1年	4	5	4	4
	2年	4	6(1)	3	4
	3年	4	4(1)	4	5
	4年	4	6(1)	4	5
	5年	4	5(2)	4	5(1)
	6年	4	3	3	8(2)
2 物語・小説・随筆	1年	8	6(2)	8(1)	9
	2年	5(1)	6(1)	7(1)	8(1)
	3年	5(1)	4(1)	5(1)	5(1)
	4年	5(1)	4(1)	5(2)	6(1)
	5年	4	4(2)	4(1)	4(1)
	6年	5(1)	5(2)	6(3)	3(1)
3 詩・短歌・俳句 ※ 巻頭詩、文語調の短歌・俳句を含む	1年	7(1)	5	6	10(2)
	2年	8	6(1)	5(3)	14(3)
	3年	11(2)	6(2)	14	17(5)
	4年	11(2)	11(2)	12(6)	14(2)
	5年	9(2)	12(4)	6(2)	14(1)
	6年	13(6)	11(5)	7(3)	13(6)
4 文語調の文章 ※ 一作品を一教材とする	1年	0	0	0	0
	2年	0	1	1	0
	3年	14	13	12	11
	4年	19(6)	22	12(8)	12(7)
	5年	12(1)	8	9(5)	17
	6年	18	5(1)	12(3)	15

○その他 ※（ ）内は、資料編等の中の教材数

内容	学年	東書	学図	教出	光村
学校図書館等の活用に関する教材数 (読書案内・読書活動を含む)	1年	5	7	6(3)	5(1)
	2年	4	5(2)	3(3)	3(2)
	3年	4	3(2)	5(3)	3(2)
	4年	5	3(2)	3(3)	4(2)
	5年	5	3(1)	2(4)	5(1)
	6年	4	3(1)	3(4)	4(1)